

エコアクション21

レンティアグループ 環境経営レポート2025



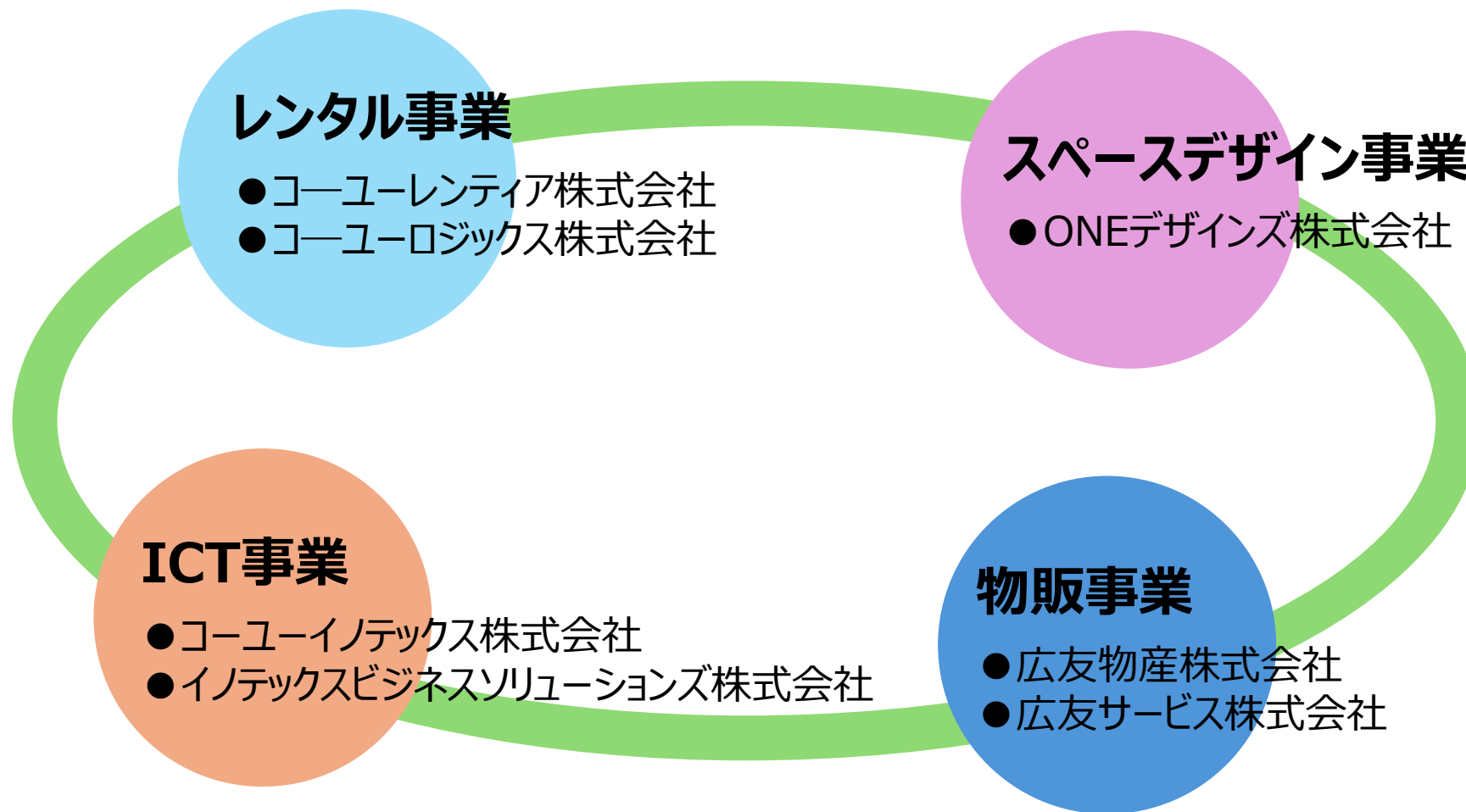
- 対象期間 : 2025年1月1日～2025年12月31日
- レポート発行 : 2026年6月1日

目次

1. レンティアグループの概要	2
2. 環境活動推進体制	6
3. 環境ポリシー（環境経営方針）	7
4. レンティアグループ 環境マテリアリティ	8
5. 環境経営中期目標	9
6. 環境経営計画に基づき実施した主な取組み	10
7. 主な環境に貢献する事業および活動の紹介	
(1) 環境配慮のサービスおよび商品	11
(2) 温室効果ガス排出削減と再生可能エネルギーの導入	17
(3) 環境意識の向上	19
(4) その他の環境取組み	22
8. 環境経営目標の実績評価	23
9. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	29
10. 主な環境関連法規などの遵守状況の確認	
及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	32
11. 代表者による全体の評価と見直し・指示	33

1. レンティアグループの概要

「レンティアグループ」として、4つの事業でお客様のビジネスをサポートしています



※環境負荷が微量なため、イノテックスエンジニアリング株式会社および株式会社OSTは環境経営レポートからは対象外とする

1. レンティアグループの概要

事業者名	コーユレンタ株式会社
本社所在地	〒105-0004 東京都港区新橋6-17-15 菱進御成門ビル6F
設立	1970年(昭和45年)10月
代表者	代表取締役社長 梅木 孝治
資本金	9億9,252万円
売上高	213億7,995万円 (2025年12月期 単独) ※347億156万円 (2025年12月期 連結)
従業員	408名 (2025年12月末 単独) ※893名 (2025年12月末 連結)
事業内容	*FF&Eレンタル業。 建設業界・不動産業界・イベント業界をはじめ、国内外の企業向けにFF & Eをレンタル。 *furniture, fixtures and equipment (家具、什器、備品)



1. レンティアグループの概要

●グループ事業会社紹介

レンタル関連事業



●コユーレンティア株式会社

レンティアグループが展開する「FF & Eレンタル業」の中核事業会社。
建設現場事務所や不動産販売センター、各種イベント、一般企業向けレンタルなど、多彩なマーケットに対応。
オフィス家具を始め、備品や家電品、OA機器など、多種多彩な商品を揃え、空間プランニングを含めたレンタルのトータルソリューションをご提供しています。



●コユーロジックス株式会社

日本全国に物流拠点を整備し、レンタル備品の配送、保管を請け負う事業会社。
独自の在庫管理と輸送システムを構築し、お客様のご要望に「ジャストタイム」でお応えしています。
またレンタル備品のメンテナンスやクリーニング、修理なども担っています。

スペースデザイン事業



●ONEデザインズ株式会社

マンションのモデルルーム、販売センターにおける設計・施工・デザイン・インテリアコーディネート業務からご契約者の方々へのインテリアコンサルティングサービスなど様々なニーズに対応した快適空間作りに取り組んでいます。

1. レンティアグループの概要

●グループ事業会社紹介

物販事業



●広友物産株式会社・広友サービス株式会社

各種事務機器とインテリア家具の企画・販売を手がける事業会社。
オフィス家具や備品などを調達し、官公庁を中心に販売するとともに、リゾート施設向けのインテリア家具の企画・開発から販売などを行っています。

I C T 事業



●ユーユーイノテックス株式会社

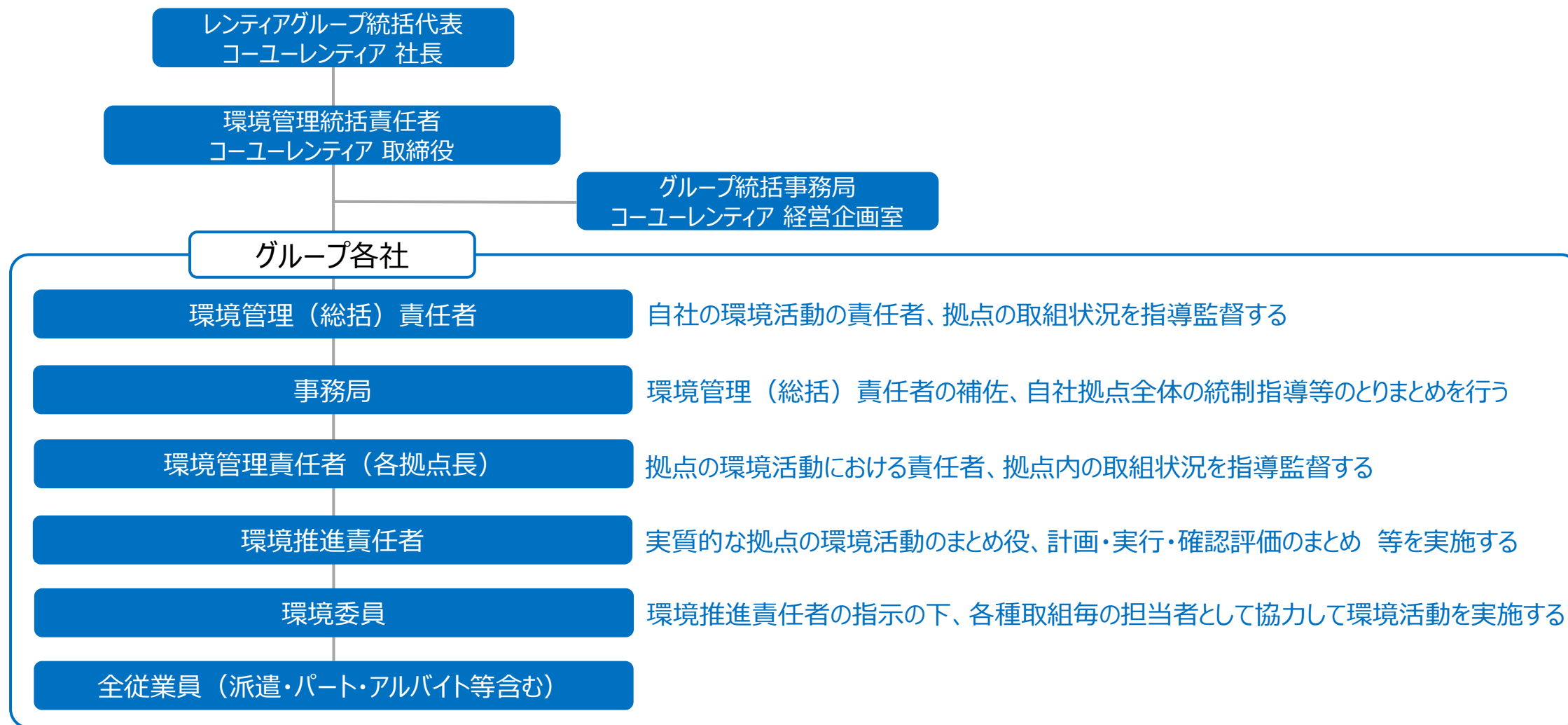
オフィスなどのIT環境整備と、OA機器の保守点検サービスを提供する会社。
レンタルのトータルソリューションの一環として提供するITネットワーク構築や情報機器の調達を始め、各種OA機器の保守点検・修理、アフターサポートなどICT技術を活かしたサービスを実施しています。

●イノテックスビジネスソリューションズ株式会社

コピー機・複合機・プリンタなどの出力システムを始めとする、オフィス機器やネットワークをトータルにサポートする、オフィスのドキュメントソリューションを提案しております。 ※以降「IBS」と表記



2. 環境活動推進体制



3. 環境ポリシー（環境経営方針）

レンティアグループは、FF&Eのレンタル・販売を核とした環境創造型企業として、企業活動及び社員の行動を通し環境保全に努め、環境に配慮した商品を提供するとともに環境法令を遵守し資源節減・環境負荷低減を実施し、継続的改善により未来への共生を図ります。

1 環境負荷削減

- （１）私たちは、製品のライフサイクル全般において「リデュース」「リユース」「リサイクル」をキーワードに、限られた資源を有効活用する循環型事業の拡大を目指します。
- （２）私たちは、創エネルギー、省エネルギーを推進し、事業活動により排出されるCO₂を削減すると共に脱炭素社会に貢献します。
- （３）私たちは、自然環境の保全、水資源の保護に貢献します。

2 コンプライアンス

私たちは、環境関連の法令遵守及び社会的環境ルールを守ります。

3 環境マネジメント

私たちは、環境マネジメントシステムを基本とし、体制を確立し、目標を設定、環境保全と環境改善に取り組めます。

2025年1月15日
コーユーレンティア株式会社
代表取締役社長 梅木 孝治

4. レンティアグループ 環境マテリアリティ

●限られた資源を有効活用する循環型事業の拡大



⇒ レンティアグループのレンタルサービスでは、「リデュース」「リユース」「リサイクル」をキーワードに環境負荷を低減することが可能です。

持続可能な消費と生産を促進し、気候変動の抑制に寄与していきます。

●事業活動により排出されるCO₂削減で脱炭素社会に貢献



⇒ さまざまな取組みにより、レンティアグループは2030年までにCO₂排出量50%削減（2018年比）をめざします。

●再生可能エネルギーとレンタルの可能性を追求



⇒ 「レンタル」と「再生可能エネルギー」の可能性を追求し、新たな時代のニーズに対応した脱炭素ソリューションを開発。

これからも社会全体で環境保護に取り組めるビジネスやサービスを創造し、推進していきます。

★レンティアグループ[【サステナビリティ】紹介ページ](#)はこちら



5. 環境経営中期目標

取組項目		単位	中期基準年度	年度目標（基準年度比）	
			2024年度 実績	2025年度 目標値	2026年度 目標値
二酸化炭素の削減	電力使用量	MWh	2,259	2,236 (-1.0%)	2,213 (-2.0%)
	ガソリン使用量	kℓ	181	177 (-2.0%)	174 (-4.0%)
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1,005	965 (-4.0%)	925 (-8.0%)
水使用量の削減		m ³	7,083	7,012 (-1.0%)	6,941 (-2.0%)
廃棄物排出量の削減		t	1,314	1,301 (-1.0%)	1,288 (-2.0%)
化学物質使用量の削減			化学物質使用量の把握と適正な管理		
エコプールの育成 (eco検定取得者数)		人	30	50	100

6. 環境経営計画に基づき実施した主な取り組み

当グループの環境活動取組内容は以下の通りです。

CO₂

【電気】

- ①部分消灯・業務時間以外の消灯
- ②No残業Dayで使用時間削減
- ③空調機器の適正な温度設定
- ④再生可能エネルギーの活用

【ガソリン】

- ①エコドライブの推進
- ②効率的な営業計画の策定
- ③燃費の良い営業車種の選定



廃棄物

- ①廃棄区分の明確化
- ②環境啓発運動の実施
- ③マイ〇〇の推進
- ④リサイクル率の向上



コピー用紙削減

- ①情報セキュリティを考慮した両面使用
- ②ITツール利用によるペーパーレス
- ③カウンタ使用によるプリンタ使用削減



その他

- ①グリーン購入等、エコマーク商品の優先購入
- ②地域の清掃活動への参加
- ③ペットボトルキャップ・使用済み切手の寄附
- ④全拠点でのSDGsへの取組み



水

- ①節水喚起
- ②洗濯機の効率利用



環境教育

- ①資格受験対策講座（勉強会）の実施
- ②拠点委員会による資格の受検推進
- ③環境推進企業の見学



7. 主な環境に貢献する事業および活動の紹介

(1) 環境配慮のサービスおよび商品

オフィス移転サービス

オフィス家具レンタル事業で培ったメンテナンス技術とノウハウで、オフィス移転時の環境への配慮をお手伝いします。

オフィス探しからレイアウト・デザイン、内装工事、備品の調達、移転はもちろん、

- 不用品の買い取り、リサイクル、寄付・贈呈の仲介
- 家具・備品のリペア・クリーニング
- ゴミも徹底分別・分解、減容

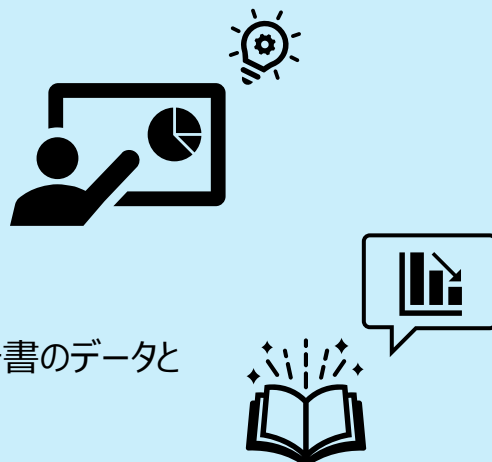
さらに、リサイクル率の可視化や、移転に関わるCO₂排出量を見える化し、カーボンオフセット。お客様の環境活動を支援します。

※カーボンオフセットサービスの詳細は次ページ

【お客様の環境活動を支援】

移転でのリサイクル率やCO₂排出量、温室効果ガスの削減活動のデータをご提供

環境活動報告書やCSR報告書のデータとして、ご活用が可能



★詳細は[【オフィス移転サービス】紹介ページ](#)へ



7. 主な環境に貢献する事業および活動の紹介

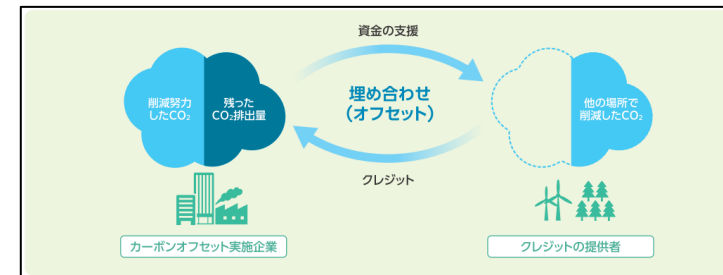
(1) 環境配慮のサービスおよび商品

カーボンオフセットサービス

レンタルで、片付けで、「ゼロカーボン」を実現。手軽に環境貢献ができるサービスを提供しています。

【カーボンオフセットとは】

カーボン＝CO₂、オフセット＝埋め合わせる、つまり経済活動等で排出するCO₂を省エネなどで減らす努力をした上で、どうしても排出されてしまう分を「CO₂削減プロジェクト」等に出資することで埋め合わせる仕組みです。



●カーボンオフセット・レンタル

お客様にご利用いただくレンタル商品の中でも、電化製品を対象として、使用時のCO₂排出量を算出するシステムを開発しました。商品のレンタル期間に応じたカーボンオフセットを可能にしています。

対象商品の一例…複合機、テレビ、シュレッダー、冷蔵庫、エアコン



●カーボンオフセット・不用品片付け

オフィス・店舗等の移転や改装等に伴い、什器備品類を片付ける際にも、お客様の目に触れにくいところでCO₂が排出されています。当社では、移転や不用品処分に伴うCO₂排出量を算定、カーボンオフセットし、細部にわたり環境配慮を徹底させたいとお考えのお客様のご要望にお応えしています。



★詳細は[【カーボンオフセットサービス】紹介ページ](#)へ



7. 主な環境に貢献する事業および活動の紹介

(1) 環境配慮のサービスおよび商品

太陽光発電×蓄電池のレンタルを中心とした脱炭素ソリューション

「レンタル」と「再生可能エネルギー（以下再エネ）」の可能性を追求し、新しい時代のニーズにレンタルで応えるのが脱炭素ソリューションの取組みです。

2010年のサービス開始以来、短期間でも手軽に太陽光発電をレンタルでご利用頂けることが、多くのお客様から支持されています。お客様の具体的な脱炭素への取組みに加え、仮設電源として使用する燃料型発電機に代わる再エネ電源としても選ばれています。

■ 工事現場

現場事務所のZEB化や現場CO₂削減に加え燃料が使用できない場所での仮設電源として脱炭素に向けた具体的な取組みの実践



■ イベント会場

主催者による具体的な取組みとしてイベント会場のCO₂削減やグリーン電力導入など社会要請に応える取組みを共有・普及・啓発



■ 災害復旧

燃料型発電機は燃料確保が難しく再エネ電源で電源確保



(1) 環境配慮のサービスおよび商品

太陽光発電×蓄電池のレンタルを中心とした脱炭素ソリューション

●ソーラー電源を使用することは燃料を使用しない選択、レンタルを通じて実質CO₂削減にも貢献

近年、工事現場ではカメラや通信機器など、多くのデバイスが複数台、分散設置され、同数の電源を確保する必要が生じています。通常は燃料型発電機を使用しますが、私たちは独自技術でオリジナルのソーラー電源を開発し、お客様の新しい選択肢をご用意しました。ソーラー電源が選ばれ、燃料型発電機で本来排出されるCO₂の発生を防ぐことは、レンタルを通じてCO₂削減に貢献しているとも言えます。「ピコソーラーパワーサプライ」や「独立ソーラー電源：そらジェネ」は各地の工事現場やイベント会場、実証実験などで活躍しています。

※独自技術は国土交通省のNETIS登録技術にも採用されています。

●使用済み太陽光パネルを使って、カーボンニュートラルを実現する未来

一般社団法人太陽光パネルリユース・リサイクル協会に本年度より参加しました。

(<https://sp2ra.jp/>)

使用済み太陽光パネルの適正リサイクルの義務化について道筋は見えてきました。

一方で使用済み太陽光パネルのリユース市場の創出が課題とされています。

リユース市場が創出された未来では使用済み太陽光パネルによる再エネ導入が加速し、カーボンニュートラルの早期達成に繋がる可能性があります。

私たちは繰り返し使用するレンタルのノウハウや経験を活かし、使用済み太陽光パネルの利活用の検討を強化して参ります。



7. 主な環境に貢献する事業および活動の紹介

(1) 環境配慮のサービスおよび商品

リペア・クリーニング サービス

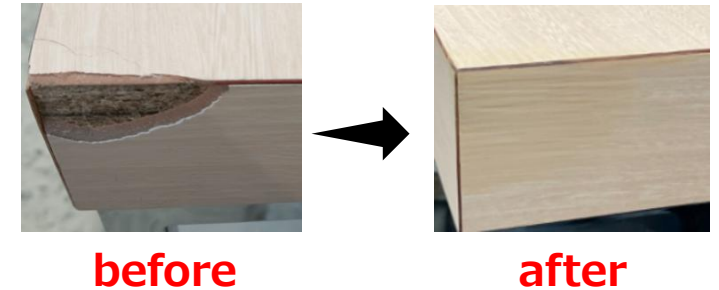
オフィス、店舗、各施設で長年お使いのイスやソファ、木工家具等、汚れたり古くなったものを捨ててしまうのではなく、今のモノを新品のように生まれ変わらせるサービスです。

●リペア

木工家具であれば、補修（リペア）が可能です。テーブルの天板の穴埋めや傷の補修、木角の剥がれなどを補修します。

また、パーティションのリペアも多く実施してきましたが、最近では、外注業者の協力に対応できる木製品も増加しており、一層廃棄物削減に貢献しています。

社内のリペアの技術向上や他社とのアライアンス（業務提携）により、お客様へ提供できるサービスの拡大とともに、限られた資源を有効活用する循環型事業の拡大も図っています。



●クリーニング・張替え

汚れやシミを取り除くクリーニングや、布・レザー・ビニール部の張り替えで新品同様に生まれ変わらせることができます。



★詳細は[【リペア・クリーニング】サービス紹介ページ](#)へ



7. 主な環境に貢献する事業および活動の紹介

(1) 環境配慮のサービスおよび商品

再生材を使用「アトレソファ」

クッション素材に、沿岸部に打ち上げられたペットボトルやプラスチックごみを回収して作られた綿を使用しています。



長寿命化「フェニックス天板」

最先端技術の天板を採用し、デザインも重視しながら、機能性としても、小さな傷であればアイロンなどの熱やメラミンスポンジによる摩擦熱を使うことにより、簡単に修復することが可能なロングライフ設計となっています。



取扱説明書をQRコード化

レンタルの度に印刷していた取扱説明書のペーパーレス化を実施。紙の使用量だけでなく、インクや保管スペースのコスト削減や、利用効率の向上、セキュリティの強化にもつながっています。



★詳細およびその他の取組みの紹介は[【特集】ページ](#)へ



(2) 温室効果ガス排出削減と再生可能エネルギーの導入

使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、再エネ100%利用を促進する新たな枠組みである、『再エネ100宣言RE Action』に参加しています。2030年までに、事業活動に伴う電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目指します。



7. 主な環境に貢献する事業および活動の紹介

(2) 温室効果ガス排出削減と再生可能エネルギーの導入

太陽光パネルの設置

太陽光パネルレンタル事業のノウハウを活かし、自家発電での再エネも推進しています。
物流倉庫であるエリアセンターのうち、中部および九州ではリユースパネルを活用すると共に、蓄電池を組み合わせた太陽光発電システムを設置しました。
現在、太陽光パネル設置済の3拠点の発電量は、HPからリアルタイムで誰でも確認できるようになっています。



中部エリアセンター 屋上
リユースパネル

186W パネル×54 枚、250W パネル×200 枚
総発電出力 60.04kW



九州エリアセンター 屋上
リユースパネル

340W パネル×198 枚、発電出力 67.32kW



★[太陽光発電量ページ](#)へ

(3) 環境意識の向上

環境月間（概要）

社員の環境問題に対する意識の向上と活動の活性化を促す目的で、2018年6月より**グループ全社員を対象**とした環境取組みである「**環境月間**」を実施しています。多くの活動報告がある中から、グループ代表（コーユレンティア社長）等による選考で、2025年度は金賞をはじめとした全14賞が選ばれました。年々取組み内容も充実及び多様化しており、意欲的に参加する社員が増えています。

●参加人数…505名

●参加率…50.0%

●応募件数…38件

【特徴①】審査員へのプレゼン大会を実施 さらに、社員投票による「社員賞」を新設

賞の候補として一次選考から選ばれた各活動について、本人たちによるプレゼンの最終選考会を実施。直接アピールできる機会にもなり、各拠点、気合の入ったPRがなされていました。講評もあり、参加へのモチベーションアップにつながっています。

さらに、2025年度からはプレゼン大会の様子を全社員向けにライブ配信も実施し、社員投票による「社員賞」を新設。環境月間全体の盛り上がりを図りました。



全国の入賞候補者によるプレゼンの様子

【特徴②】表彰式の実施、オリジナルの楯とトロフィーの贈呈

各賞受賞者へは、表彰式を実施し、社長より直接表彰状が贈られます。更に、上位賞へ贈られる「木製トロフィーと楯」はオリジナルデザインで製作し、木材は創業60周年記念樹を植えた東京都檜原村のヒノキ材を使用し、当グループの環境取組みを一層感じてもらえるものになりました。

現在トロフィーは、前年金賞のビジネスサポートセンターから移り、現在は金賞を獲得した関西拠点にありますが、今後も、金賞を受賞した拠点・チームへ持ち回りとなります。



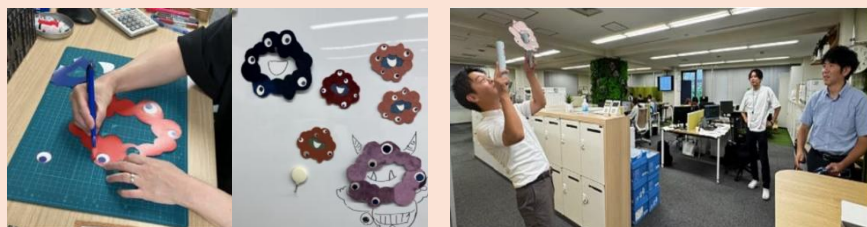
7. 主な環境に貢献する事業および活動の紹介

(3) 環境意識の向上

環境月間（各賞の紹介）

【金賞】【社員賞】 関西拠点全員で考えるエコな一か月（関西拠点）

内容：“エコリレー”をテーマに、社員一人ひとりのエコに対する想いやアイデアを「エココレ」「エコレシピ」「エコ工作」の3つの分野で取組み、想いを共有・つなぐ



【サステナビリティ賞】

不稼働在庫の有効利用に取組み環境負荷軽減に繋げる （建設ソリューション営業部）

内容：関東エリアセンター（物流倉庫）に大量に抱えている不稼働在庫を解決すべく、グループ、営業所単位で施策を決め出荷促進への活動や有効利用のアイデアを創出。
合計約148tの不稼働在庫を受注。



【銀賞】

エコ習慣ビンゴチャレンジ大会（中四国拠点）

内容：日常生活の中で実践できる身近な「エコ習慣」を楽しみながら取組み、ビンゴカードに記載されたミッションをクリアしてビンゴ達成を目指す。活動の成果を称える表彰式も実施



【銅賞】

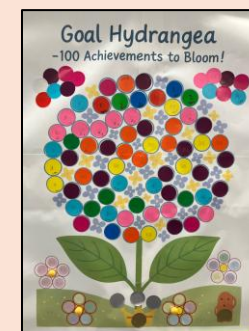
モバイルバッテリーの「レンタル運用」にて環境負荷低減と 災害発生時における緊急電源の供給による 地域貢献の取組み（札幌支店）

内容：モバイルバッテリーに使用されているリチウムイオン電池による火災や環境汚染といった課題に対し、レンタルスキームを活用して解決の一助となることを目指し、レンタル運用を開始



【その他 各賞】

- ・AIアイデア賞
- ・エコ活賞
- ・エコリレー賞
- ・CSR賞
- ・ボランティアスピリット賞
- ・エコピープル賞
- ・グリーン電力賞
- ・エコライフ賞
- ・ラッキー 7 特別賞



7. 主な環境に貢献する事業および活動の紹介

(3) 環境意識の向上

「e c o 検定」の全社員取得

社員の環境知識や意識の向上を目的として、「e c o 検定」の取得を2006年の第1回の試験から推進してきました。

一層の取得推進を目指すため、2025年に会社の方針として「**2030年までに全社員取得**」と目標を明確化し、プレスリリースも発信、取得支援として外部講師による「受験対策講座」、合格時に報奨金の支給に加えて、新たに受験料の会社負担を開始しました。これにより、2025年度は過去最多の107名が合格し、取得者は累計で459名となりました。今後の受験に向けて早期から準備を始める社員も増えてきており、更なる取得者増加を目指します。

また、これらの様々な取組みが評価され、東京商工会議所が主催する「e c o 検定アワード2025」において、エコユニット部門の【優秀賞】を受賞しました。



受験対策講座の様子
リモートでも全国から多数の出席者有り

★取組等の紹介ページは[こちら](#)



2025年8月21日

報道関係者各位

コーユーレンティア株式会社

2030年末までにグループ全社員約900名が「e c o 検定」取得へ
～ESG経営を深化、エコ人材により環境提案を強化～

コーユーレンティア株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：梅本孝治、東証スタンダード：7081）は、社員の環境知識・意識の向上を目的として、2006年度から環境社会検定試験「e c o 検定」取得を推進しています。今回環境人材の育成を図る上からも、2030年末までに全社員の「e c o 検定」取得を目標としましたので、お知らせいたします。

（背景）

レンティアグループは、循環型社会の実現に向けて、独自の「3R+*1」を推進し、FF&E*2 レンタルを中心とした事業を展開しています。2008年には環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム「エコアクション21」の認証を取得し、脱炭素の取り組みを続けてきました。2020年には「再エネ100宣言 RE Action」に加入するなど、グループ一体となって2030年末までに使用電力を100%再生可能エネルギーに転換することを掲げています。これらの環境取り組みの成果は、「レンティアグループ環境経営レポート」にて毎年公表しています。

また、事業活動に係る施策に加えて、社員一人ひとりの環境意識を高めることを目的に、2006年より「e c o 検定」の取得を推進しており、取得者は累計で391名（現保有者数319名）となり全社員の3割に達しました。今回受験料の全額補助や報奨金の支給、外部講師による受験対策講座の開催などの支援強化を実施し、2030年末までに全社員の「e c o 検定」取得を目標に掲げました。

グループ全社員の取得を明確な目標としたプレスリリース

7. 主な環境に貢献する事業および活動の紹介

(4) その他の環境取組み

木育活動

レンティアグループでは2017年5月に創業60周年を記念して、東京都檜原村に15本のヒノキ苗を植樹し、定期的なメンテナンスを実施しています。

生物多様性に貢献し、美しい森林を残していくため、今後も森の整備を実施していきます。



拠点周辺の定期的な清掃活動

全国各拠点のある地域の、清掃活動にも積極的に参加しています



月刊環境通信「オイコス」の発信

社員向けの、環境情報発信を2009年9月から毎月実施中。環境に関連する社内の取り組みや、世の中の身近な話題から世界の話題まで、分かりやすく、興味を持ってもらえるよう紹介しています。



8. 環境経営目標の実績評価（環境負荷）

取組項目		単位	2024年度 実績値	2025年度目標値 (基準年度比)	2025年度実績 (目標値との比較)	対目標達成率／評価	
二酸化炭素の削減	電力使用量	MWh	2,259	2,236 (-1.0%)	2,321 (+3.8%)	96.4%	★ ★
	ガソリン使用量	kℓ	181	177 (-2.0%)	173 (-2.3%)	102.5%	★ ★ ★
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1,005	965 (-4.0%)	1,021 (+5.8%)	94.5%	★ ★
水使用量の削減		m ³	7,083	7,012 (-1.0%)	6,843 (-2.4%)	102.5%	★ ★ ★
廃棄物排出量の削減		t	1,314	1,301 (-1.0%)	1,596 (+22.7%)	81.6%	★
化学物質使用量の削減			化学物質使用量の把握と適正な管理		—		適切に 管理できた
エコプールの育成 (eco検定取得者数)		人	30	50	107	214%	★ ★ ★

※ほぼすべての月で電気に使用量が増加、さらに灯油やLPGの使用量も増加となり、CO₂排出量も増加となった。

* 電力は2025年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数を使用

北海道電力:0.526 東北電力:0.421 東京電力:0.452 中部電力:0.411 関西電力:0.415 中国電力:0.484 四国電力:0.457 九州電力:0.472 沖縄電力:0.685

* 「エコプールの育成」以外の目標達成率 = 目標使用量 ÷ 実使用量 × 100（使用量削減目標のため）

* 評価基準：～89.9% ★、90.0～99.9% ★★、100%～ ★★★

8. 環境経営目標の実績評価（環境負荷） 詳細

（1）環境負荷削減取組み全体

グループ各事業は好調に推移しましたが、業務量の増大等に伴い、環境負荷削減取組みにおいては、ガソリン・水の使用量および、eco検定の取得人数は目標を達成、CO₂排出量および電力使用量・廃棄物排出量は増加となり、目標未達成となりました。

（2）主要な項目

①CO₂排出量（Scope1・2）の削減

目標値：965t-CO₂ → 実績値：1,021t-CO₂
達成率：94.5% 評価：★★

分析・評価：

前年度比4%削減を目標としていましたが、最終的なCO₂排出量は前年から1.6%増加となりました。

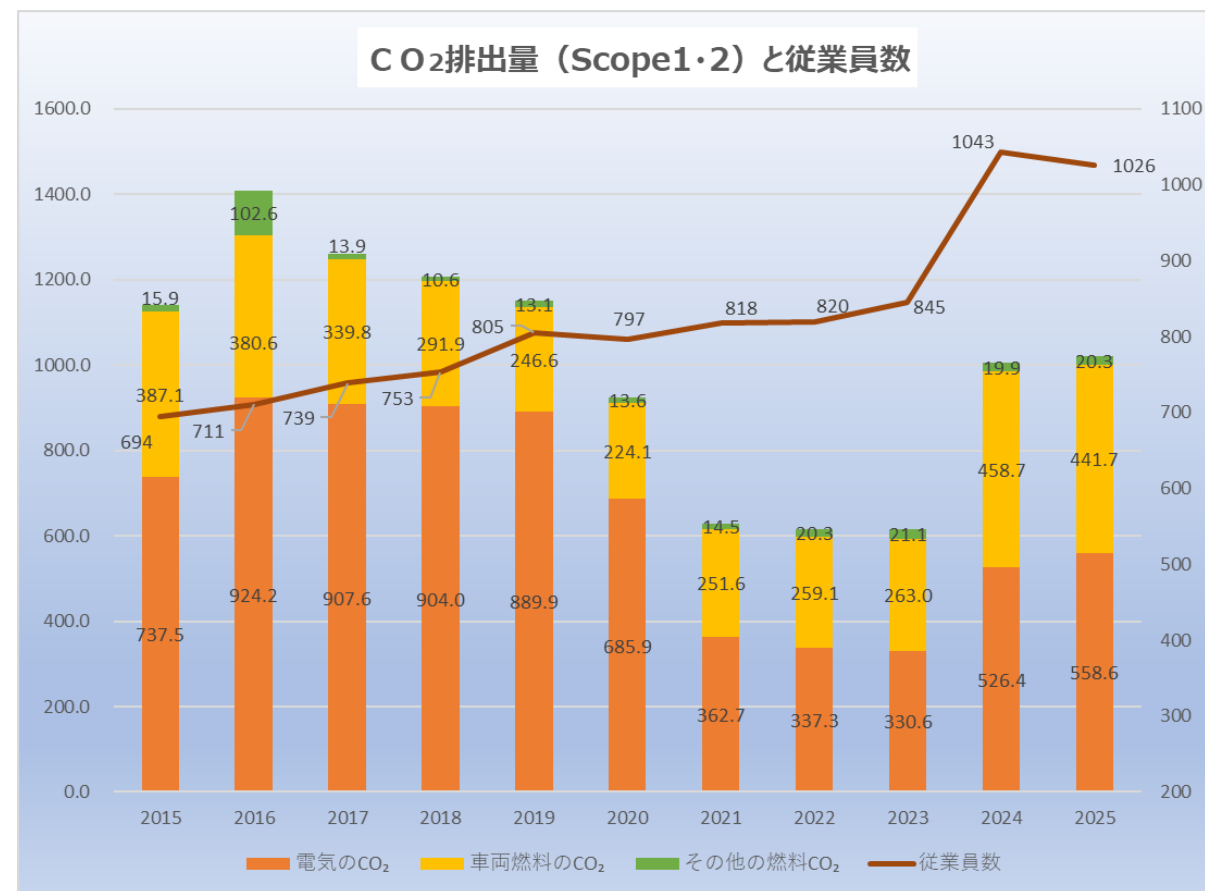
【Scope1（ガソリン・軽油・灯油・都市ガス・LPG）】

灯油・LPGの使用量は増加となりましたが、ガソリンの使用量が削減できたため、Scope1は前年から削減ができました。

【Scope2（電気）】

業務や人員、在宅勤務の減少に伴う出社の増加等により、電力使用量が増加、排出係数も増加となった電力会社が多かったため、Scope2は増加となりました。

引き続き、さまざまな節電の取組みや、再エネ電力拠点の増加、環境配慮車への転換等を進めていきます。



※2024年より、インテックスビジネスソリューションズ株式会社（IBS）のグループ参加に伴い、対象人数が約160名増加

8. 環境経営目標の実績評価（環境負荷） 詳細

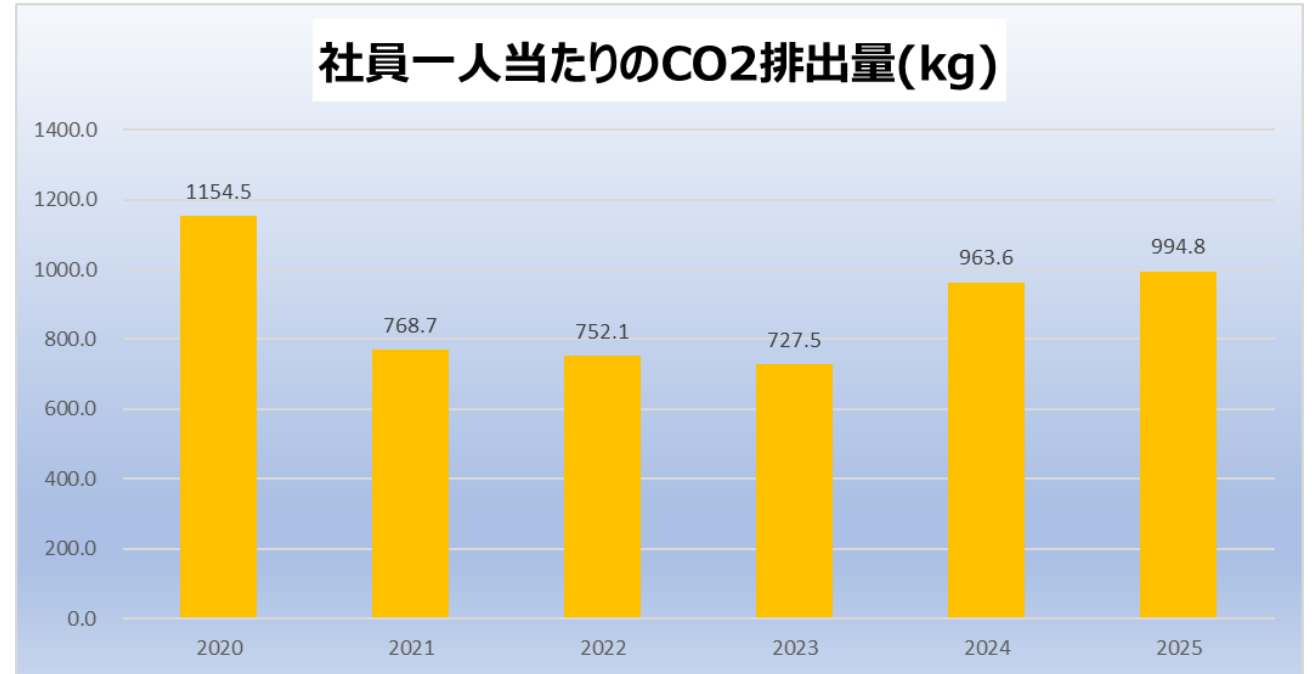
②社員一人当たりのCO₂排出量（kg）

2024年度：約963.6kg → **2025年度**：約994.8kg
評価：★★

分析・評価：

各拠点において環境負荷低減の取組みを推進してきましたが、業務量の増加に伴い特に電力使用量が増大し、前述の通りグループ全体のCO₂排出量が増加しました。一方年度末時点の従業員数が前年とほぼ同水準であったことから、社員一人当たりのCO₂排出量は増加しました

会社毎に差はありますが、特に一人当たりのCO₂排出量が多い会社では、一層削減施策を推進していきます。



※2024年より、イノテックスビジネスソリューションズ株式会社(I B S) の グループ参加に伴い、対象人数が約160名増加

8. 環境経営目標の実績評価（環境負荷） 詳細

●CO₂排出量 売上原価原単位（kg-CO₂/百万円）

2024年度：52.2kg-CO₂/百万円 → **2025年度**：50.1kg-CO₂/百万円

評価：★★★

分析・評価：

グループ全体のCO₂排出量は前年度から増加となりましたが、売上原価原単位は低減することができました。



※2024年より、インテックスビジネスソリューションズ株式会社（I B S）のグループ参加に伴い、対象人数が約160名増加

8. 環境経営目標の実績評価（環境負荷） 詳細

③エコピープルの育成（eco検定取得者の増加）

目標値：50名増 → 実績値：107名増

達成率：214% 評価：★★★★

分析・評価：

2025年度に、『2030年度末までにグループ全社員取得』と目標を明確化し、プレスリリースも発信。受験料会社負担等の受験サポートも増加し、過去最多の取得者数となりました。



8. 環境経営目標の実績評価（各事業会社独自）

事業会社	2025年度目標項目	目標値	2025年度実績	評価
コーユーレンティア	レンタル品AB*製品の売上向上	前年度比 5.3%以上増加	17.0%増加	★ ★ ★
コーユーロジックス	処分品の再商品化	前年度比 3.0%以上増加	16.9%	★ ★ ★
コーユーイノテックス	レンタル品AB製品の売上向上	前年度比 10%増加	-2.8%	★
ONEデザインズ	①レンタル品AB製品の売上向上 ②ONEデザインズで保有しているFF&Eを使った事業での納品件数向上	①前年度比 1%増加 ②前年度比 1件増加	①3.1%増加 ②1件増加	★ ★ ★
広友物産・広友サービス	抗ウイルスコーティングサービスの展開	受注件数8件以上	7件	★
イノテックスビジネス ソリューションズ	複合機のレンタルMIF*増加	前年度比 0.7%増加	-2.7%	★

*レンタル品ABはコーユーレンティアが複数回レンタルする主力商品 ※複合機の累積設置台数（稼働台数）

各事業会社は、取り扱う製品やサービスの特性を活かした目標を掲げて環境経営に取り組みました。大型イベント等の受注によりレンタルにおける営業活動が活発化、レンティアグループとしては概ね目標を達成することができました。今後も、これまでの『三方よし』に未来を加えた『四方よし』の精神に基づき、サステナブルな社会の実現に貢献する目標を設定し、その達成に向けて尽力していききたいと思います。

9. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画（環境負荷）

●環境経営中期目標

取組項目		単位	中期基準年度	年度目標（基準年度比）	
			2024年度 実績	2025年度 目標値	2026年度 目標値
二酸化炭素の削減	電力使用量	MWh	2,259	2,236 (-1.0%)	2,213 (-2.0%)
	ガソリン使用量	kℓ	181	177 (-2.0%)	174 (-4.0%)
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1,005	965 (-4.0%)	925 (-8.0%)
水使用量の削減		m ³	7,083	7,012 (-1.0%)	6,941 (-2.0%)
廃棄物排出量の削減		t	1,828	1,810 (-1.0%)	1,791 (-2.0%)
化学物質使用量の削減			化学物質使用量の把握と適正な管理		
エコプールの育成 (eco検定取得者数)		人	30	50	100

9. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画（環境負荷）

取組項目		単位	基準値 (2024年度実績)	目標	2026年度の取組み (計画)
				2026年度 目標値	
二酸化炭素の削減	電力使用量	MWh	2,259	2,213 (-2.0%)	・従前からの取組み徹底 (継続実施) ・再エネ電力への切り替え ・環境配慮車への 切り替え推進 ・eco検定勉強会の実施、 取得の推進
	ガソリン使用量	kℓ	181	174 (-4.0%)	
	CO2排出量	t-CO2	1,005	925 (-8.0%)	
水使用量の削減		m³	7,083	6,941 (-2.0%)	
廃棄物排出量の削減		t	1,828	1,791 (-2.0%)	
化学物質使用量の削減			化学物質使用量の把握と適正な管理		
エコピープルの育成 (eco検定取得者数)		人	30	100	

9. 次年度の環境経営目標（各事業会社独自）

事業会社	2026年度目標項目	目標値
コーユーレンティア	統制目標：レンタル品AB*製品の売上向上 任意目標：各拠点による	各拠点による
コーユーロジックス	処分品の再商品化	前年度比 3.0%増加
コーユーイノテックス	会社全体：レンタル品AB製品の売上向上 拠点毎：各拠点による	前年度比 -30% 各拠点による
ONEデザインズ	①レンタル品AB製品の売上向上 ②ONEデザインズで保有しているFF&Eを使った事業での納品件数向上	①前年度比 1%増加 ②前年度比 1件増加
広友物産・広友サービス	サーキュラーエコミーサービスの推進	※実績把握
イノテックスビジネスソリューションズ	複合機のレンタルMIF*増加	前年度比 1.0%増加

* レンタル品ABは、コーユーレンティアが継続してレンタルする商品

* MIFは、複合機の累積設置台数（稼働台数）

10. 主な環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

法律名等	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	判定	該当事業会社
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物の収集運搬・処理の業者への委託	○	全事業会社
	産業廃棄物運搬・処理業者に委託	○	コーユーレンティア、コーユーロジックス コーユーイノテックス、ONEデザインズ 広友物産、広友サービス、I B S
	産業廃棄物排出事業者としてマニフェスト票の交付及び保管	○	
	収集運搬車両への表示と書類備え付け	○	
	産業廃棄物の処理状況確認努力義務	○	
	産業廃棄物管理票交付等状況報告	○	
資源有効利用促進法	レンタル商品、販売パソコン	○	コーユーレンティア、コーユーイノテックス I B S
容器包装リサイクル法	過剰包装を避け、簡易包装または繰り返し使用可能な梱包資材の使用	○	コーユーレンティア
家電リサイクル法	エアコン、ブラウン管テレビ、冷蔵庫、液晶テレビ、プラズマテレビ、衣類乾燥機、電気洗濯機のレンタル製品等	○	コーユーレンティア、コーユーロジックス ONEデザインズ、I B S
小型家電リサイクル法	パソコン、携帯、DVDプレイヤー等のレンタル製品等	○	コーユーレンティア、コーユーロジックス コーユーイノテックス、ONEデザインズ I B S
フロン排出抑制法	業務用冷凍空調機器等（会社所有の業務用エアコン他）の管理者	○	コーユーレンティア、コーユーロジックス ONEデザインズ、I B S
化学物質排出把握管理促進法	（当グループはPRTR制度に該当しないが）使用している塗料、シンナー等の把握管理	○	コーユーロジックス

当グループに適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
また、関連機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

11. 代表者による全体の評価と見直し・指示

2025年度は、国際的なイベントの開催や大型開発等の案件の多い年となりました。

レンティアグループの業績は、各事業とも好調に推移し当初計画を大幅に上回り、売上高・営業利益ともに過去最高を更新することができました。前年に実施した価格の改定なども、増益の要因となっています。大型イベントでは、終了後も持続可能性のため、会場内備品再利用やエコな片づけなどに取組み、お客様からの高い評価もいただいています。

非財務面では、中期経営計画の2年目として、一層ESG経営を深化させるべく、将来を見据えた戦略的投資や、人的資本の充実に取り組んでまいりました。

そのような中、温暖化抑制（環境負荷削減）の取組みは、CO₂排出量をはじめとしたいくつかの項目では増加となりましたが、目標以上の削減を達成できた項目もありました。認証範囲の拡大2年目となり新しい拠点にも環境負荷低減取組みへの意識も高まってきていると感じています。

引き続き、新たに再エネ100電力とする拠点を追加するとともに、電気・ガソリンの使用量の多い会社や拠点で、削減に向けた各種取組みを一層推進し、環境経営中期目標の達成に向けた活動を実施してまいります。

eco検定取得者数については、『2030年度末までにグループ全社員取得』と目標を明確化し、会社の受験サポートもさらに手厚くした結果、過去最多の取得者数となりました。職場や部門で一層の取得強化をしたところもありますが、グループ全体の取得率はまだ約40%のため、今後も取得を推進するとともに、営業活動や業務への活用を目指します。

環境経営目標・計画に基づく個々の環境負荷削減の取組みについては、環境委員が率先して遂行するとともに、『社員一人一人の行動が地球環境を支えていく』をスローガンのもと、オールレンティアグループとして取り組んでまいります。

2026年度は、会社の中期経営計画と併せてエコアクション21の中期計画も最終年度となります。引き続きエネルギー価格や物価の高騰といった外部環境の影響が継続していくと予想されますが、エコアクション21の取組みを通じて、省エネルギー、コスト削減を継続し、環境関連法令を遵守しながら、企業として社会へ貢献する為、一層の努力をしてまいります。

コーユーレンティア株式会社
代表取締役社長 梅木 孝治



● 環境経営レポートに関するお問い合わせ先

コージュレンティア株式会社

経営企画室 サステナビリティ推進チーム

TEL:03-6365-6505 FAX:03-5931-4201

URL: <https://www.koyou.co.jp/>